

令和7年度の校内研修について

大島小研修部

1 今年度の校内研修について

◎本年度の学校経営方針の重点指導事項

『「進みつつある教師のみ 人を教うる権利あり」を体現する学校』

◎本年度の努力事項

- ・道徳科授業の教材を教科書教材だけでなく、身の回りの様々な人・物・ことを教材とした授業を創造することで、教師自身の教材開発力・授業構成力の向上を図る。
- ・前年度までに研究・開発した読解力の向上を中心とした学習指導を定着・共通理解させることで教師の指導力向上を図り、更なる学力向上を目指す。

※研究主任が道徳指導、副主任が学力向上を担当する。

2 研究主題と副主題について

「開発教材で道徳科授業を創る」

— 教師の教材開発力・授業構成力を磨く —

2018 年度に道徳が教科化されて6年、評価の導入等により週に1回の道徳授業が着実に実施されつつある。が、そのほとんどは教科書教材による道徳科授業である。

小学校学習指導要領 第3章第3項第3節に以下の記載がある。

3 教材については、次の事項に留意するものとする。

- (1) 児童の発達の段階や特性、地域の実情等を考慮し、**多様な教材の活用に努めること。**特に、生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題などを題材とし、児童が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような**充実した教材の開発や活用を行うこと**

このような記載があるが、教材を開発して授業に使用した経験のある教師は少ない。

本年度はこの「多様な教材の活用」に焦点を当て、教師が身の回りの様々な人・物・ことから積極的に教材開発に努めることにより「教材開発力」を、そしてその教材を45分どのように構成して活用するのかという「授業構成力」を向上させて児童の道徳性を養いたい。また、それは道徳科以外の教科にも応用できることが期待され、ひいては教師自身の力量形成を高めることができるだろう。また、その過程で大島・平戸の地域素材を教材化することにより、ふるさと教育にもつながると考える。

最初は1つの教材に1～2の発問を組み合わせ、10～15分程度の「小さな道徳授業」づくりから始める。慣れてきたら、発問や時間を増やし、45分授業へと発展させたい。

可能であれば、講師を招聘して開発教材による模擬授業を受けたり、具体的な開発の方法を教えていただいたりする機会を設けていきたい。

以上のような研究に取り組むことにより、学校経営方針の重点指導事項である『「進みつつある教師のみ 人を教うる権利あり」を体現する学校』を達成できると考える。

3 研究の柱

- (1) 身の回りの様々な人・物・ことから道徳授業として使えそうな素材を取り上げ、児童への発問や構成を考えて道徳科の教材として開発する。
- (2) 開発した教材を使って授業を行う。
- (3) 研究協議をとおして効果的な開発教材の活用の仕方（授業の在り方）を模索する。

4 研究の方法

- (1) 開発教材による 10～15 分程度の模擬授業を行い、取り上げた教材や発問、授業化について検討する。
 - (1) 模擬授業を修正し、研究授業として 45 分の授業として実施する。
 - (2) 開発教材や作成したプレゼンを共有フォルダにまとめ、将来的には誰もが活用できるようにする。

5 共通理解事項

- (1) 開発教材による 2 回の模擬授業、1 回の研究授業を行う。
- (2) 教材として取り上げる際には、正確性・公平性・中立性に十分注意して教材化する。

6 日程（予定）

	月 日	内 容	備 考
1	5月22日(木)	小さな道徳授業を創ってみよう①	
	6月 6日(金)	※ 講師を呼ぶかも	
2	6月12日(木)	開発教材の道徳授業を体験しよう	
3	6月26日(木)	小さな道徳授業を創ってみよう②	
	8月 8日(金)	※ 講師を呼ぶかも	
	8月29日(金)	※ 講師を呼ぶかも	
4	9月11日(木)	小さな道徳授業を創ってみよう③（模擬）	
5	9月25日(木)	開発教材で道徳授業をしよう①	
6	10月 9日(木)	開発教材で道徳授業をしよう②	
7	10月30日(木)	小さな道徳授業を創ってみよう④（模擬）	
8	11月20日(木)	開発教材で道徳授業をしよう③	
9	12月11日(木)	開発教材で道徳授業をしよう④	
10	1月15日(木)	開発教材で道徳授業をしよう⑤	
11	2月 5日(木)	平戸市学力テスト分析	
12	2月26日(木)	分析？まとめ？	